

株式会社 平山工業

平成 30年 10月度 (第30回)

平成 30年 10月 27日

安 全 衛 生 協 議 会

1. 安全教育

- ・先月度の重点行動目標の実施報告
- ・重点行動目標の作成

2. 会社連絡事項

- ・車両事故(軽微なもの)多発に付き注意喚起
- ・事故等報告書の提出について

3. 社員からの要望

- ・特になし

4. 今月の重点行動目標

車両事故の防止

具体的な対策

☆誘導員の配置

- ・誘導員(同乗者)がいない場合は車両周辺の確認の実施

☆交通ルールの遵守

- ・会社帰社時には規定ルートで帰社
- ・方向指示器の適時使用。
- ・早めのヘッドライト点灯。

☆体調管理

- ・睡眠時間をしっかりと摂る。
- ・体調不良(睡魔に襲われる等)などあれば休憩または運転手の交代。
- ・作業の合間や終了時の職長(リーダー)による巡回。

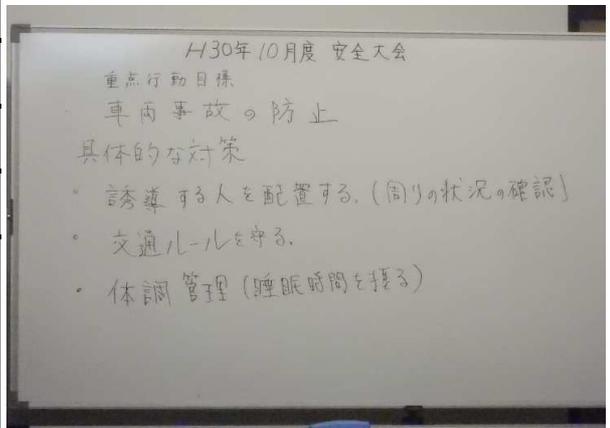
写真NO.	1
タイトル	安全衛生協議会
場所	会議室
開催日	平成30年10月27日

備考:
参加者:11名



写真NO.	2
タイトル	安全衛生協議会
場所	会議室
	平成30年10月27日

備考:
参加者:11名



(株) 平山工業

平成 30年 10月度 ヒヤリ・ハット報告書まとめ

No.	報告者氏名	概 要
1	増尾 友寿	橋脚沓座ハツリ作業で狭小部でのブレーカーを使用中研れた勢いでブレーカーに指を挟みかけた。
2	武内 直行	4 t ダンプ車で土砂運搬作業中タイヤが土砂にハマリ自走では抜け出せなくなった。
3	橋本 隆	アンカー工事で道具運搬時躓いて転倒しそうになった。
4	比嘉 武	橋梁補修工事で浮き部のハツリ作業（上向き）時大きく割れた研りガラが体に当たりそうになった。
5	加藤 武志	橋脚沓座ハツリ作業で狭小部でのブレーカーを使用中ブレーカーの重みで肘を痛めた。
6	長濱 浩好	コア削孔（Φ160×1200：下向き）コアガラを抜き取る作業中指を詰めそうになった。
7	網野 温也	樹脂注入作業で材料攪拌時攪拌している勢いで材料が飛散した。
8	藤田 陽之	橋梁橋桁桁下の足場上で四つん這いで移動していた時膝を足場板を結束していた番線の結び目で擦りむいた。
9	白井 眞人	橋梁BOX桁内から橋脚天端に降りようと出口近くのブラケットに足を掛けたら仮置きしていた部材に足がひっかかり落下しそうになった。
10	田村 政也	マンホール立坑内側面部でコア削孔時足場が脆弱なためバランスを崩し落下しそうになった。
11	岩本 一輝	夕方6時過ぎに4 tトラック荷台に乗りシートをかぶせる作業中足元が暗かった為躓き荷台から落下しそうになった。
12	築場 友哉	橋梁足場上でのコア削孔コアガラ取り出し時ガラを折ろうとした時手元を誤りハンマーで指をたたいてしまった。
13	居川 蓮也	橋梁底版部の補強工事において現場へ向かう足場階段で移動中足元が濡れていた為滑り転倒しそうになった。
14	河田 康平	橋梁足場上でのコア削孔時足元に置いていた道具を蹴ってしまいその勢いで道具が落下しそうになった。
15	孔 国	足場上でドリル削孔時（横向き）既設鉄筋に干渉しドリルに巻き込まれそうになった。
16	姜 昆	足場上でコア削孔作業で移動する際電気コードに足を取られ転倒しそうになった。
17	趙 躍進	橋梁BOXカルバート内で上向きドリル削孔時切り粉が目に入りそうになった。
18	島田 強	4 t ダンプ車で土砂運搬作業中前輪が脱輪してしまった。
19	城土 貴文	ワイヤーソー作業で25KVの発電機使用時エンジンの始動状態で使用してしまった。
20	甄 文東	橋梁BOXカルバート内で上向きドリル削孔時手を回転部に近づけすぎた為巻き込まれそうになった。
21	姜 暁航	コア削孔作業削孔水をペール缶（20L）で運搬中躓いて転倒しそうになった。
22	尹 延浩	橋梁補修工事で浮き部のハツリ作業（上向き）時大きく割れた研りガラが体に当たりそうになった。
23		
24		
25		

(株) 平 山 工 業

平成30年 10月度 安全衛生協議会

開催日

平成30年10月27日

開催場所

会議室

出席者名簿

No.	氏 名	No.	氏 名
1	齋藤 友哉	17	
2	橋本 隆	18	
3	網野 温也	19	
4	平山 健二	20	
5	甄文東	21	
6	孔 国	22	
7	姜 昌 女 昌	23	
8	姜 晓航	24	
9	趙 躍進	25	
10	武内 直行		
11	鎌倉 祐輔		
12			
13			
14			
15			
16			